

### 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	エコール・デテ 2017
事業主体 (連絡先)	(一社)レキップ飯田 0265-23-6255
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	835,740 円 (うち支援金 : 626,000 円)

#### 事業内容

飯田市とシャルルヴィル・メジエール市が友好都市であることからフランス語圏の人々に対し地域や日本の文化をフランス語で学ぶ学校構想が起こり、その第一歩としてサマースクールの開講を実施した。

本年度は来飯する学生が研修テーマ(※印)を自ら持っていたため、それに沿う研修内容とした。8/10～8/12

- ・政治※：下条村前村長の講演、旧小笠原書院視察
- ・宗教※：長久寺・大宮諏訪神社の視察、お盆の風習
- ・社会・生活※：阿島傘視察、下栗の里視察
- ・教育※：飯田型キャリア教育の講演
- ・市民交流：ウェルカムパーティ(BBQ)
- ・地域伝統体験：水引体験、人形劇視察



【 集合写真 】

#### 【目標・ねらい】

- ①サマースクール参加者の確保
- ②地域住民との交流
- ③結果・実績の周知
- ④今後に向けた連携先の構築

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①参加学生の確保が難航したが日仏学生 21 名の参加が得られた。研修内容は水引等大変好評だった。
- ②ウェルカムパーティへ 18 名の参加があったが目標人数の 30 名は下回った。時期と告知が課題である。
- ③HP の整備、レポートのポスティングを行った。新聞記事掲載の反響を鑑みるに紙媒体での効果が期待される。
- ④本事業を通じて FFJE をはじめフランス関連の各団体との接点ができ、次年度の開講に向けた参加学生の確保に見通しが立った。

#### ※自己評価 【 C 】

##### 【理由】

課題や改善点を見つけるための初年度開催であったためC評価とする。参加者・関係者からはぜひ継続すべきとの声を頂いている。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

学生からの研修内容に対する評価を精査し、魅力があり満足のいくプログラムを構築していく。市民との交流の場を、参加人数がなるべく多くなるような形で作っていく。

本事業の実現可能な中期的な目標を立て、それを市民に周知させ、実現に向けて働きかける。FFJE や国内の仏関係団体、そして飯田市や下伊那市町村との連携を強化させる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある